

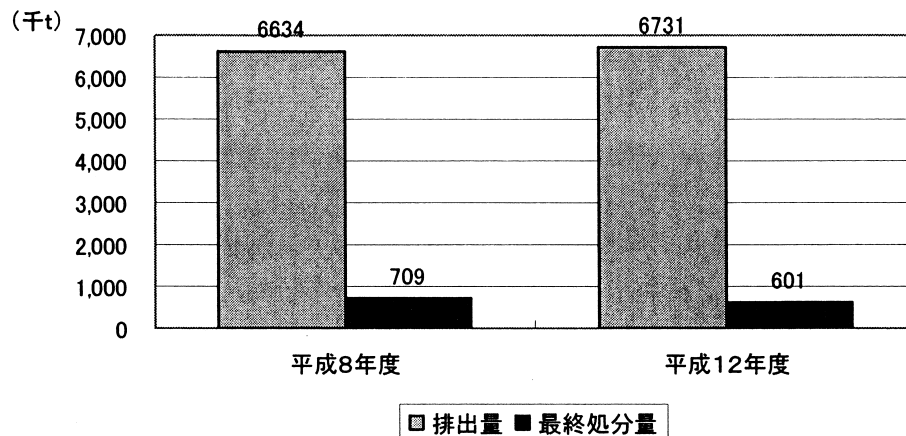
みると、がれき類が 1, 295 千 t (71%) で最も多く、次いで、汚泥が 137 千 t (8%) となっています。

委託処理量のうち、直接最終処分された量は 341 千 t (委託処理量の 19%) であり、中間処理された量は 1, 477 千 t (同 81%) となっています。

④ 最終処分の状況

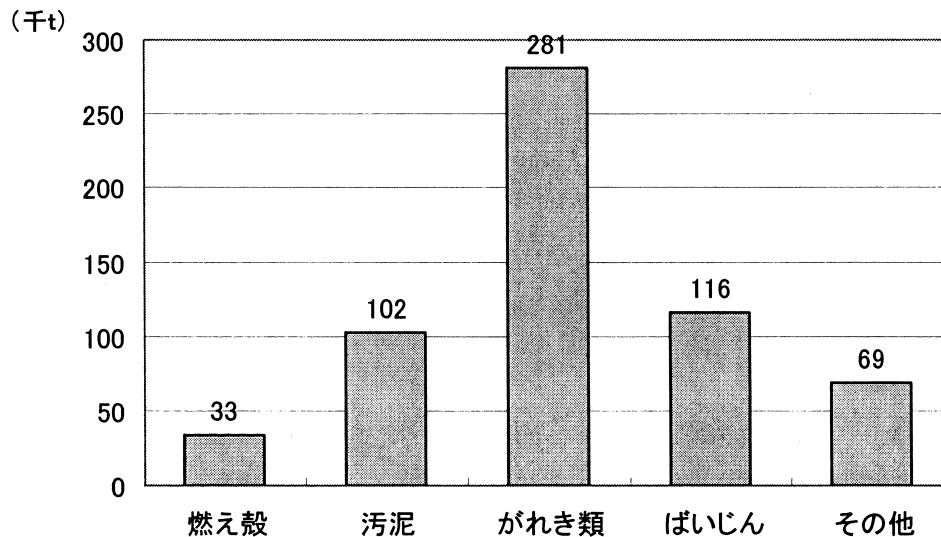
最終処分量は、601 千 t となっており、排出量に対する比率 (最終処分率) は 9% となっており、前回調査 (平成 8 年度 11%) と比較して減少しています。

(図 2-16) 最終処分量の推移



種類別にみると、がれき類が 281 千 t (48%) で最も多く、以下、ばいじんが 116 千 t (19%)、汚泥が 102 千 t (17%)、燃え殻が 33 千 t (5%) となっています。

(図 2-17) 種類別最終処分状況 (平成 12 年度)



最終処分を処分主体別にみると、排出事業者が自ら行う自己最終処分量が 178 千トン (最終処分量の 30%)、処理業者等による最終処分量が 423 千トン (同 69%) となっています。